



## 加賀市長からのメッセージ 第034号 6月20日配信

今週は加賀市にとって大きなニュースが重なりました。

一つ目は、本日、国の文化審議会から文部科学大臣に対し、加賀市の史跡である大聖寺城跡が国史跡に答申されたことです。今後、官報告示を経て正式に国指定史跡となる予定であり、加賀市で4番目の国指定史跡となります。

大聖寺城跡をはじめとした大聖寺の文化遺産は市民の皆さんの大切な資産であり、シビックプライドそのものであると思っております。今回のこの機会は大聖寺の街に関わる史跡を保全し、未来へと繋いでいく大きな契機と考えます。そして、この悲願を叶えるために努力を続けてきた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。一步ずつですが、未来に向けてできることを着実に進めてまいります。

そしてもう一つ。今週16日（日本時間）の夜、加賀市がJALエンジニアリング、そして米国のWisk Aero社と「空飛ぶクルマ」実装に向けた基本合意書を締結したというニュースです。

JALエンジニアリング社の航空運送事業と航空機整備に基づく確かな技術的知見、そして世界最大の航空宇宙機器開発メーカーであるボーイング社の子会社として自律飛行の空飛ぶクルマの機体開発を牽引するWiskの革新的な技術、そして、国家戦略特区に認定されているからこそ可能な加賀市だからこそ実現した、日本初の取り組みとなります。

空飛ぶクルマの実現は、市の産業構造の変革を、そして地域の移動手段に革命をもたらし、観光振興や地域経済の活性化にも大きく貢献するものと期待しています。

今回の二つのご報告は、加賀市が歴史を大切に守りながら同時に最先端の技術を取り入れ、未来を見据えながら着実に歩みを進めている証です。これからも、市民の皆さんと共に、魅力あふれる加賀市を創造してまいります。

(令和7年6月20日号)

加賀市長 宮元 陸